

# 2024年12月期 決算説明会

2025年 2月 7日  
株式会社SUMCO  
(証券コード:3436)  
(LEI:353800SUSRUOM0V6KU92)

## 見通しに関する注意事項

本資料は一般の株主及び投資家に対する情報提供を目的に作成されたものであり、いかなる法域においても、当社が発行する証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報及び将来推定は、本日現在当社が利用可能な情報及び一定の前提又は仮定(当社の主観的判断に基づくものを含みます。)に基づくものであり、実際の業績等は、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報及び将来推定と大きく異なる可能性があります。



- 総括・市場環境
- 2024年度 決算概要(連結)
  - 2024年度 業績
  - 営業利益増減分析
  - バランス・シート、キャッシュ・フロー
- 2025年度第1四半期 業績予想(連結)
  - 2025年度第1四半期 業績予想
  - 営業利益増減分析
- 参考資料



## 総括・市場環境

代表取締役 会長兼CEO  
橋本 眞幸

## ■ 2024年度第4四半期 業績

(金額単位：億円)

	2024年度 4Q予想	2024年度 4Q実績	増減
売上高	970	1,000	+30
営業利益	50	70	+20
経常利益	70	114	+44
親会社株主に帰属する純利益	40	36	▲4
為替レート(円/US\$)	150.0	149.2	▲0.8

## ■ 2025年度第1四半期 業績予想

(金額単位：億円)

	2024年度 4Q実績	2025年度 1Q予想	増減
売上高	1,000	1,020	+20
営業利益	70	45	▲25
経常利益	114	40	▲74
親会社株主に帰属する純利益	36	15	▲21
為替レート(円/US\$)	149.2	155.0	+5.8

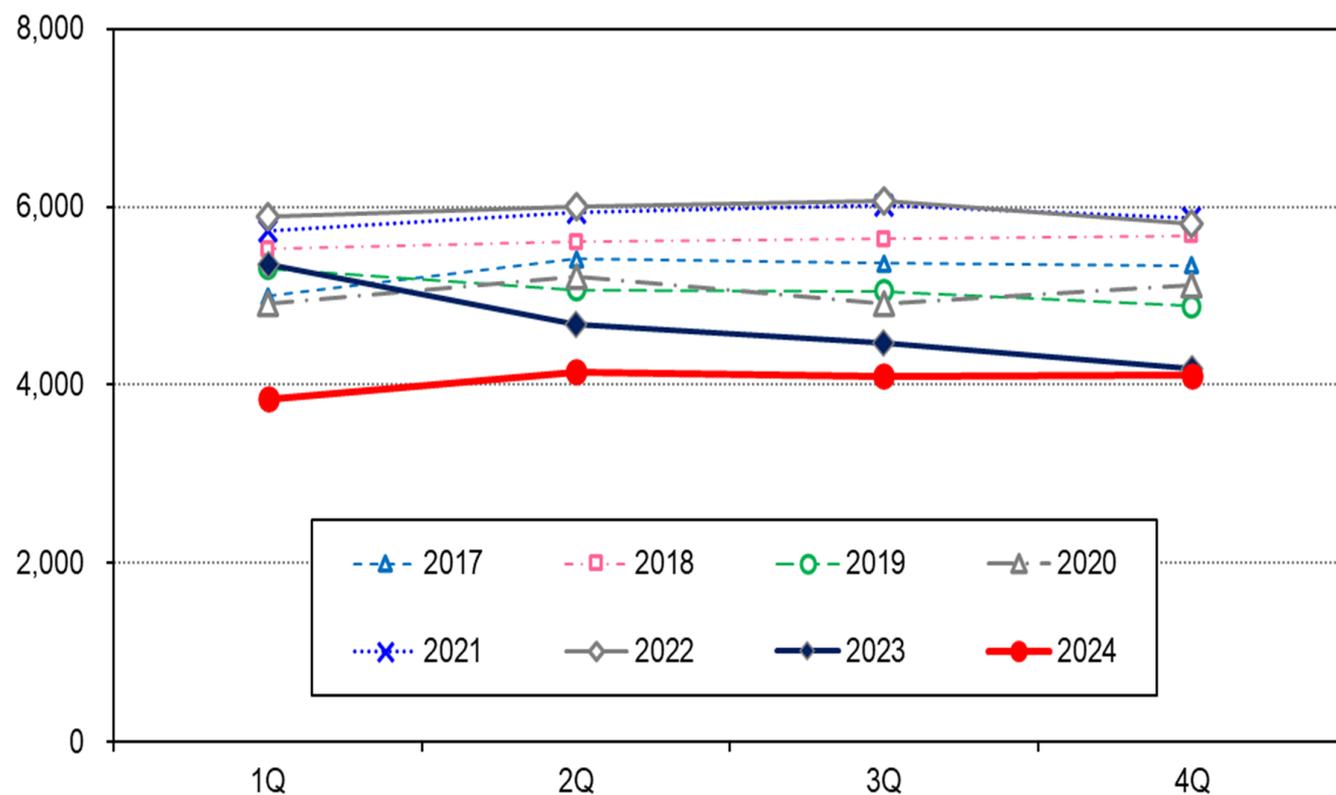
## 1-2. 株主還元(予想)

		第21期 (19/12)	第22期 (20/12)	第23期 (21/12)	第24期 (22/12)	第25期 (23/12)	第26期 (24/12)
配当金(円/株)	中間	25	18	17	36	42	15
	期末	10	9	24	45	13	6
	年間	35	27	41	81	55	21
配当金総額(億円)	中間	73	52	49	126	147	52
	期末	29	26	84	157	45	21
	年間	102	78	133	283	192	73
連結配当性向(%)	年間	31.0%	30.9%	30.2%	40.4%	31.0%	39.7% (注)
自己株式取得							
金額(億円)	年間	33	25	-	-	-	-
	比率(%)	年間	10.0%	9.8%	-	-	-
総還元性向(%)	年間	41.0%	40.7%	30.2%	40.4%	31.0%	39.7%

(注) 補助金収入(税引後金額)は配当対象から除く

## 2-1. 200mmウェーハ季節変動(四半期毎)

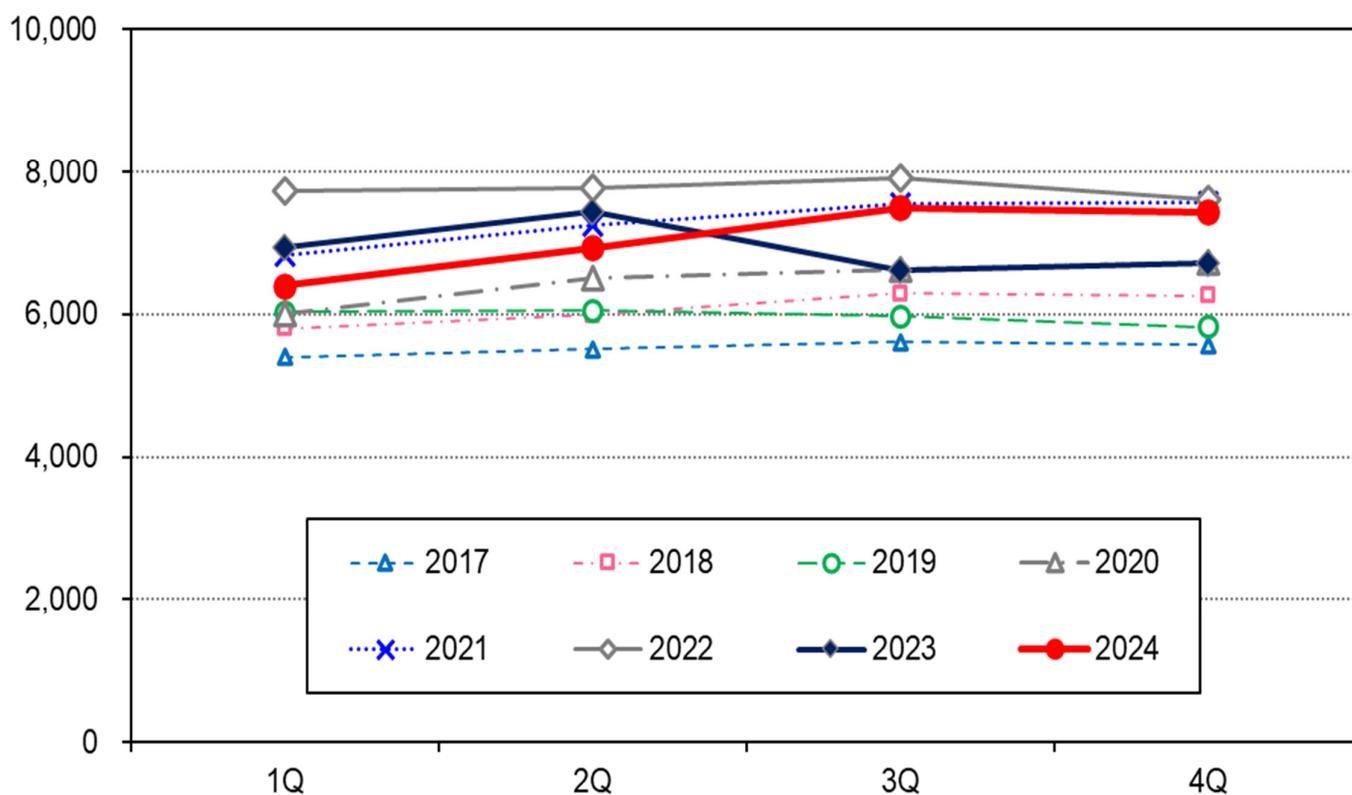
(千枚/月)



(出典: SUMCO 推定)

## 2-2. 300mmウェーハ季節変動(四半期毎)

(千枚/月)



(出典: SUMCO 推定)

### ■ 2024年4Q実績

- ✓ 数量 ・300mmは、3Qまでは回復が続いたが、4Qは3Qの横ばいとなった  
・200mm以下は、低調な出荷が続いた
- ✓ 価格 ・300mm、200mmともに、長期契約価格は守られた

### ■ 2025年1Q予想

- ✓ 数量 ・300mmは、先端品は引き続き好調だが、レガシー品は需要回復が弱い  
ため、ウェーハ在庫適正化に時間を要しており、全体として出荷量の回復  
は緩やかと予想  
・200mmは、顧客の生産調整が続く見通し
- ✓ 価格 ・300mm、200mmともに、長期契約価格は維持されている  
小径のスポット価格は、地域や用途によってまだら模様

### ■ 今後の見通し

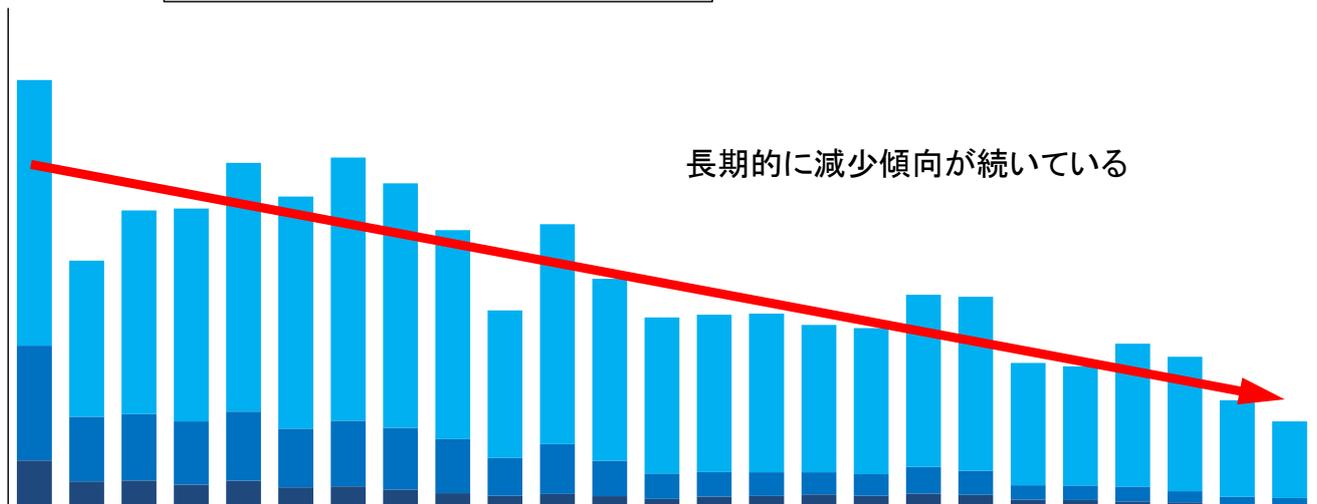
- ✓ 半導体市場は、AIにけん引されたデータセンター向けの強い需要が続くが、AI以外  
の用途では需要の回復が遅れており、二極化の状況が続くと予想
- ✓ シリコンウェーハ需要は、300mmは緩やかに回復。200mm以下は、中国との競争激  
化と、民生・産業・自動車向けの低迷から、低調な出荷が続く見通し

## 2-4. 小径ウェーハの市場環境

### ■ 小径ウェーハ市場

出荷面積

■ 100mm ■ 125mm ■ 150mm



2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

(出典: SUMCO推定)

### ■ 小径ウェーハ需要の見通し

- ✓ 足元では、新型コロナ特需の反動、最終製品の回復の遅れなどから、需要が低迷
- ✓ 中長期では、半導体製造の大径化が続いており、小径ウェーハの成長は見込めない
- ✓ 一方、中国では小径ウェーハを使った半導体製造の増加に伴い、中国シリコンウェーハメーカー  
の生産量が拡大しつつあり、今後競合状況が厳しくなると予想

AI用を中心に半導体技術の革新が加速する中で、経営資源を300mm先端品の供給能力強化へ集中し、一層の企業価値向上に努めてまいります

### ■ 小径ウェーハの生産体制の見直し

＜生産体制集約による効率化＞

- ・ SUMCO TECHXIV 宮崎工場のウェーハ生産を他工場へ集約し、効率化と収益改善に取り組む
- ・ 再編対象となる従業員は、300mm事業の要員として活用

### ■ 宮崎工場の再編計画

- ✓ 宮崎工場のウェーハ生産は2026年末に終了、単結晶生産は継続する

200mm	長崎工場、伊万里工場へ移管
150mm	インドネシア工場へ移管
125mm他	不採算のため、移管せず生産終了
単結晶	生産を継続、ウェーハ加工は集約先の他工場

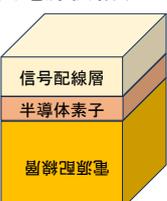
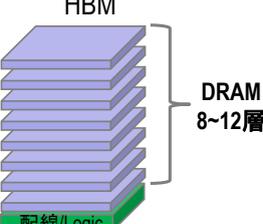
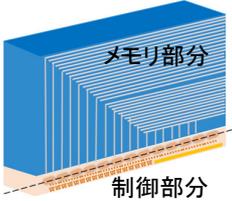
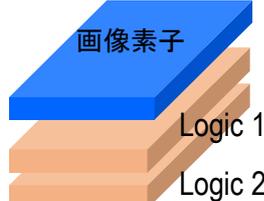
### ■ 事業構造改革に関する損失の計上

- ✓ 小径ウェーハの生産体制再編に伴い、固定資産の減損損失46億円、棚卸資産の評価減等12億円、計58億円を特別損失として2024年度に計上

## 3. ウェーハ貼合せによる、最先端デバイス

1. ウェーハ貼合せ技術を使用した最先端デバイスの構造例
2. 最先端高性能デバイスで使われる貼合せウェーハ例
3. DRAM ビット容量需要予測
4. DRAM向け300mmウェーハ需要予測
5. NAND ビット容量需要予測
6. NAND向け300mmウェーハ需要予測

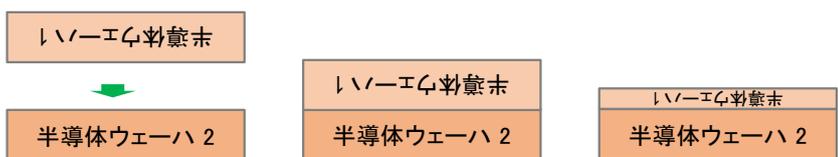
### 3-1. ウェーハ貼合せ技術を使用した最先端デバイスの構造例

	Logic	DRAM	NAND	CIS
構造	<p>裏面電源供給 (BSPDN)</p> 	<p>HBM</p> 		
目的	<p>微細化による配線抵抗増加を回避するため、ウェーハ両面に信号と電力の配線を分離</p>	<p>制御用Logicの上にDRAMを積層。チップ面積の縮小と大容量・高速化を実現</p>	<p>メモリ部分の下層に制御回路を設置。配線長さの短縮と高速化を実現</p>	<p>画像素子面積の最大化の為、画素処理部分を下層に設置。動画処理速度の向上で、高精細化を実現</p>
枚数	2~3枚	HBM総数+制御用Logic	2枚 (メモリ+Logic)	3枚 (画像素子+Logic+Logic)

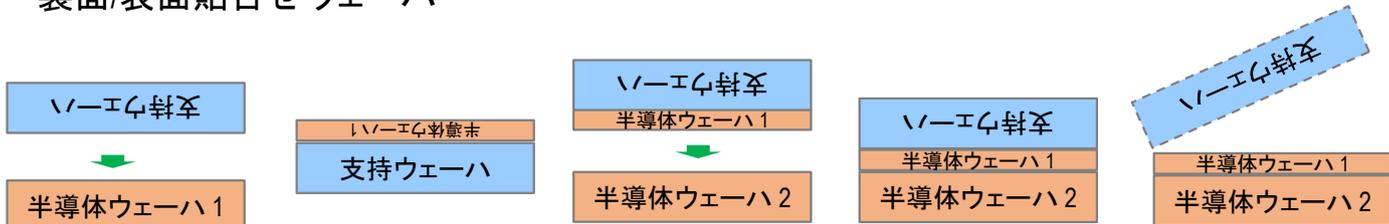
(出典: 公表情報を基にSUMCO推定)

### 3-2. 最先端高性能デバイスで使われる貼合せウェーハ例

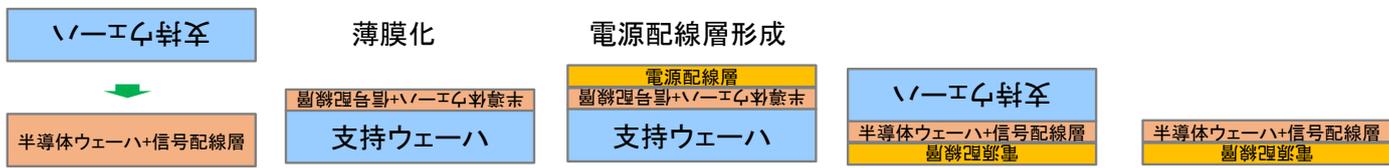
**表面/表面貼合せウェーハ**



**裏面/表面貼合せウェーハ**



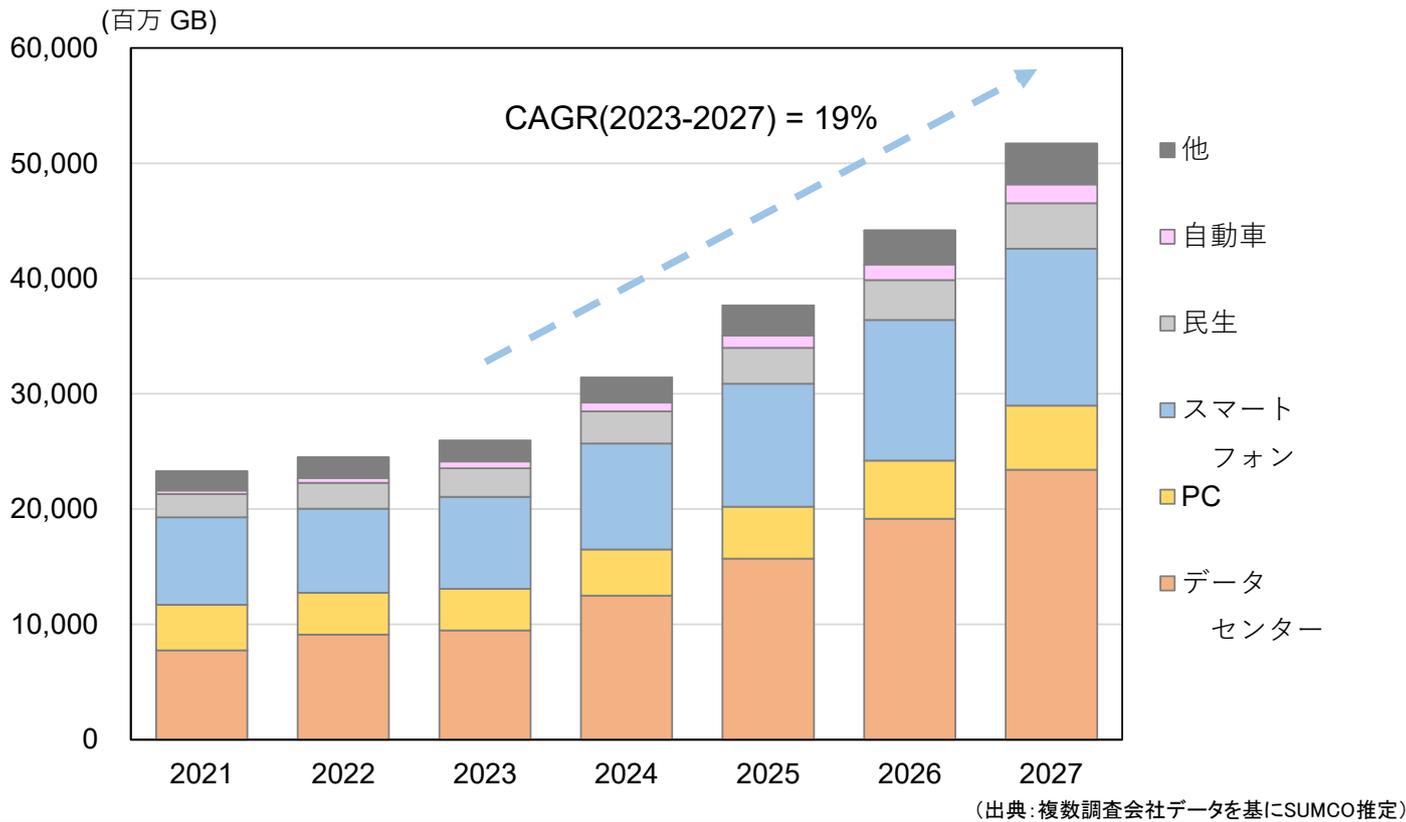
**裏面電源供給 (BSPDN) 構造**



(出典: 公表情報を基にSUMCO推定)

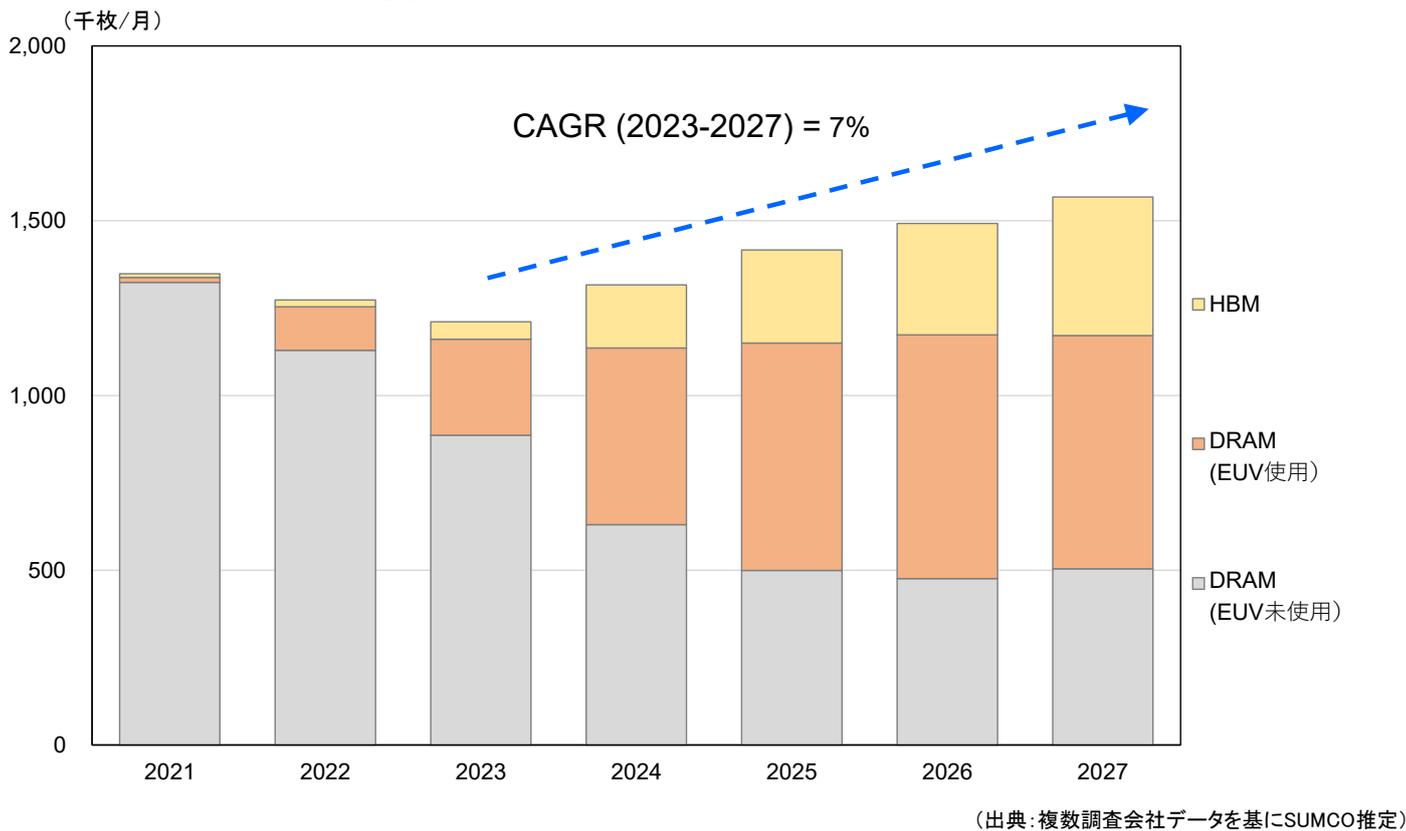
### 3-3. DRAM ビット容量需要予測

- ✓ データセンター向けの成長が高い
- ✓ PCおよびスマートフォン向けの需要増加も続く



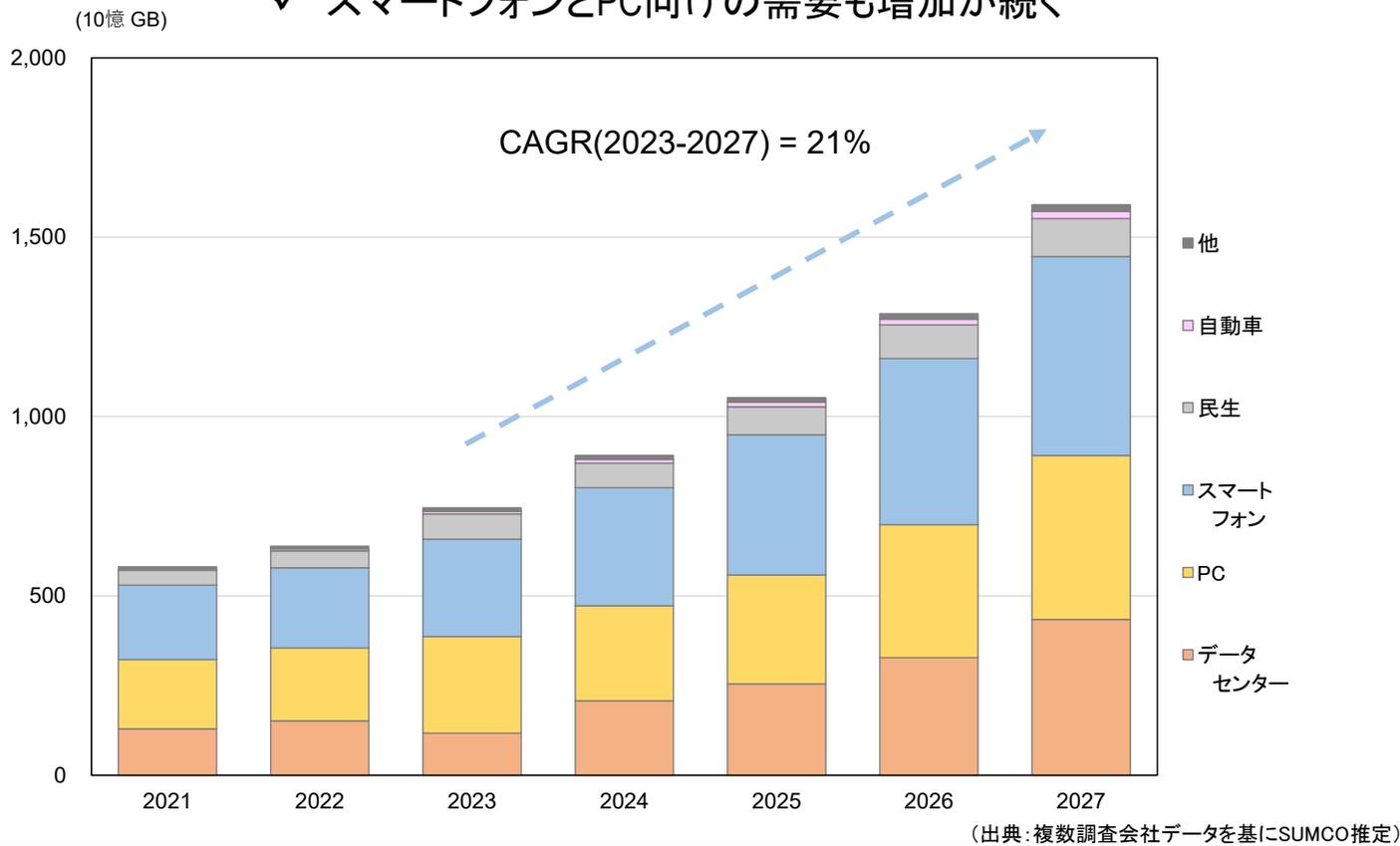
### 3-4. DRAM向け300mmウェーハ需要予測

- ✓ 最先端DRAM、HBM用ウェーハは、強いウェーハ需要が継続
- ✓ HBMとEUVを使用するDRAM向けのウェーハ需要は増加が継続



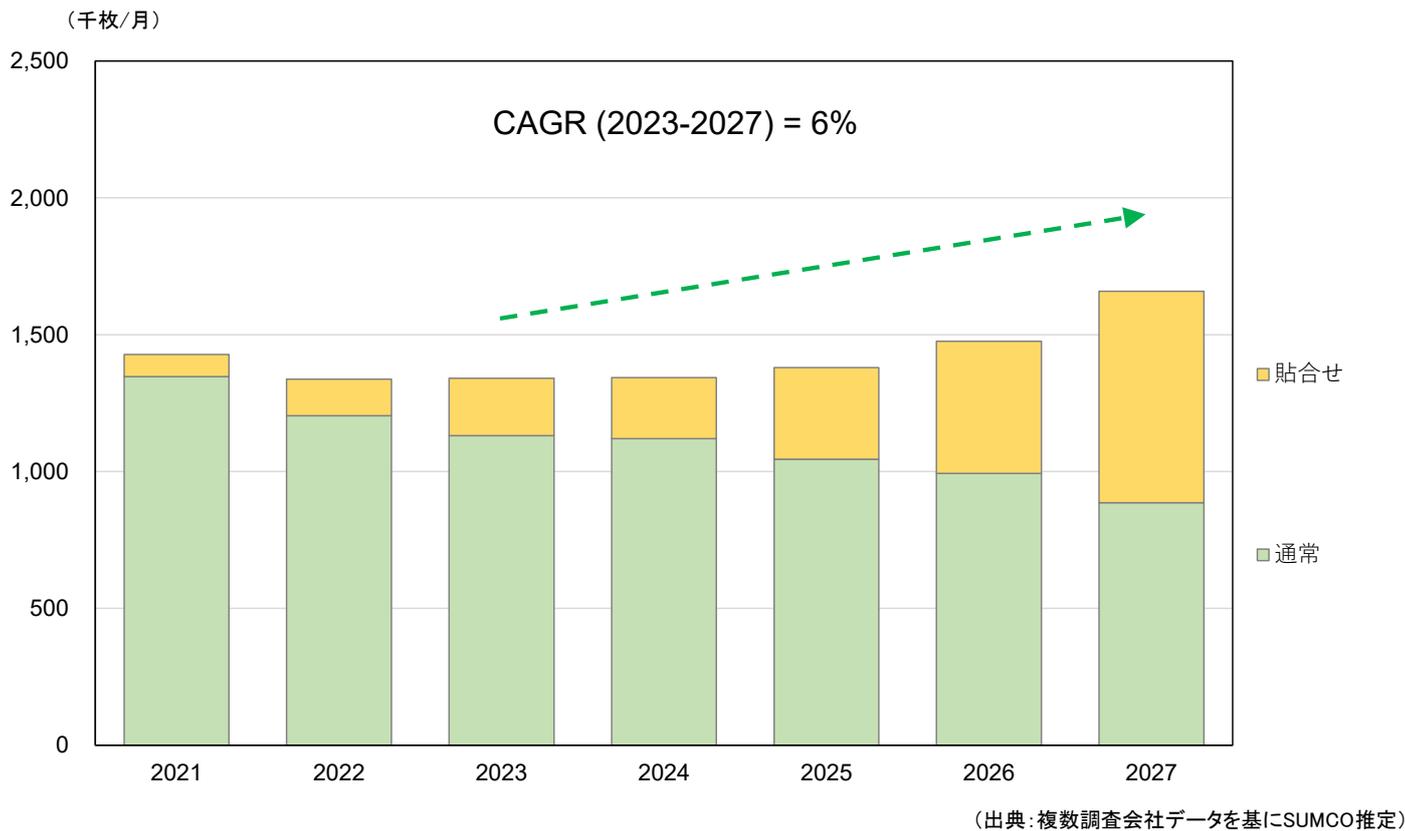
### 3-5. NAND ビット容量需要予測

- ✓ データセンター向けの成長率が高い
- ✓ スマートフォンとPC向けの需要も増加が続く

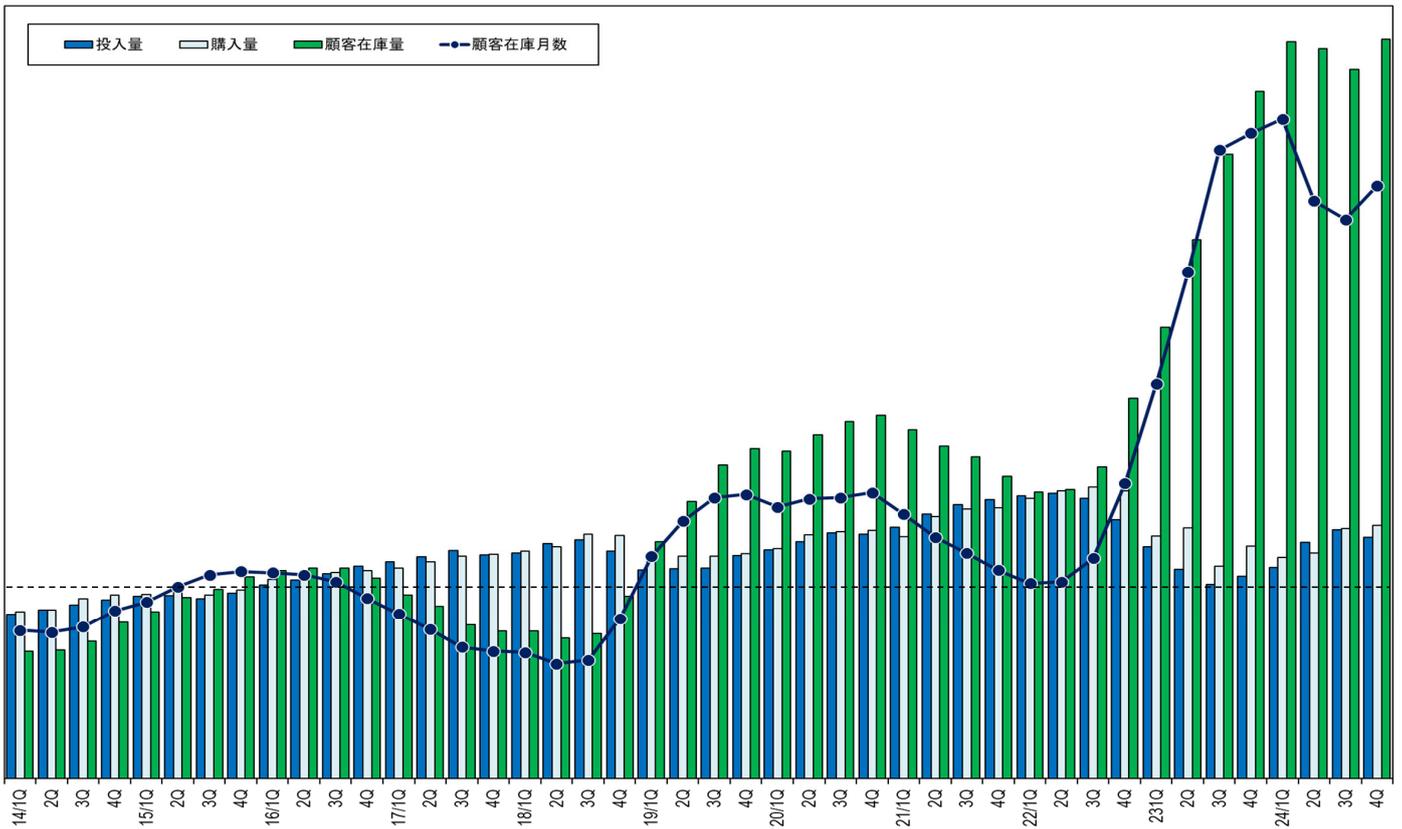


### 3-6. NAND向け300mmウェーハ需要予測

- ✓ 高速および大容量化により最先端NANDは、ウェーハ貼合せプロセスが使用される
- ✓ 別々に作った記憶素子と制御回路を貼合せて、ひとつのNANDチップにする



# 4-1. 300mmウェーハ顧客在庫推定(24/4Q実績)

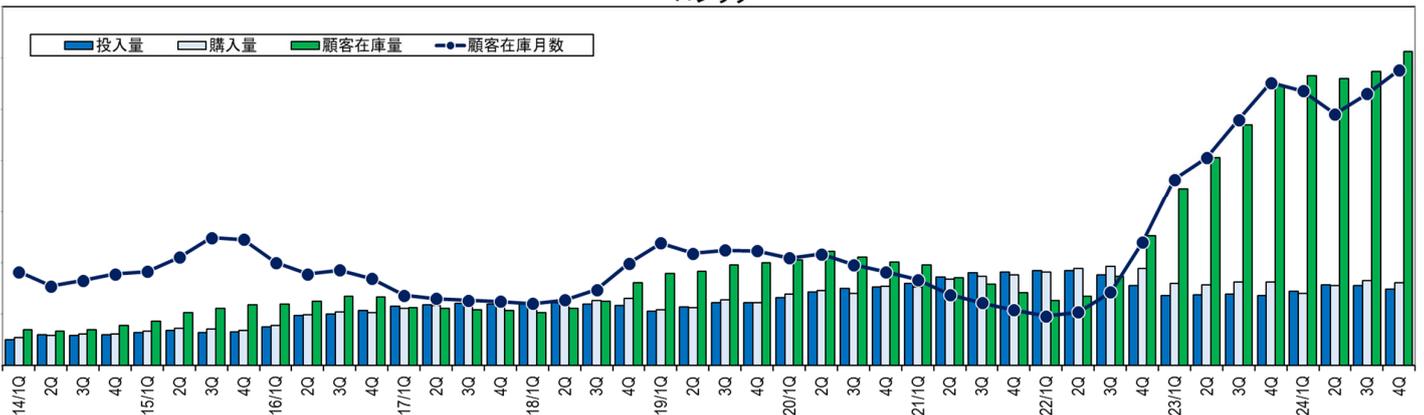


(出典: SUMCO推定)

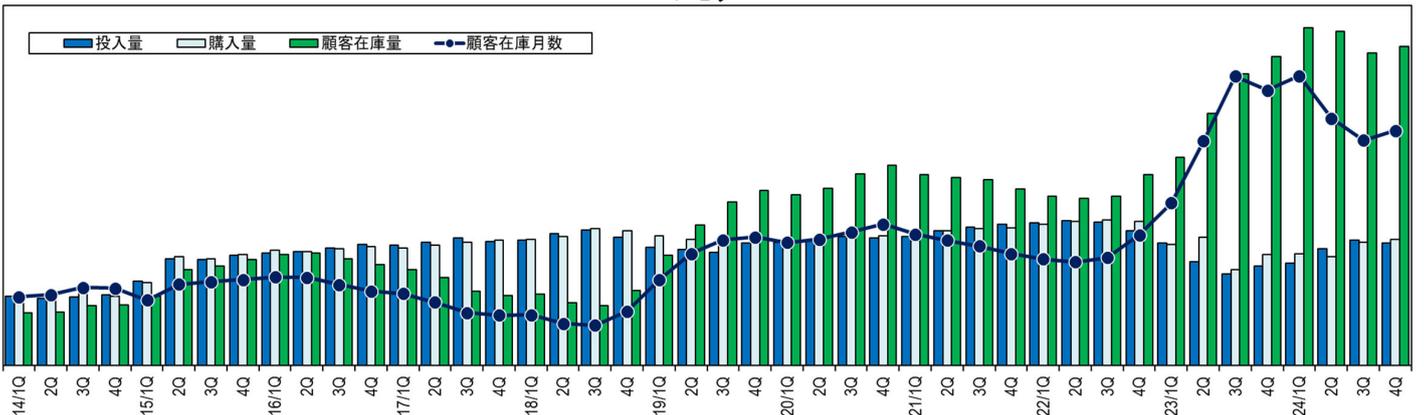
# 4-2. 300mmウェーハ顧客在庫推定(ロジック/メモリー)



## ロジック



## メモリー



(出典: SUMCO推定)

# 2024年度 決算概要(連結)

代表取締役 副社長  
最高財務責任者  
窪添 伸一

## 5-1. 2024年度 業績(連結)

(金額単位：億円)

	2023年度 実績	2024年度				累計	増減
		1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	4,259	935	1,047	984	1,000	3,966	▲293
営業利益	730	86	122	91	70	369	▲361
営業外損益	▲4	5	▲9	▲35	44	5	+9
経常利益	726	91	113	56	114	374	▲352
特別損益	201	-	-	-	▲58	▲58	▲259
法人税等	▲203	▲30	▲29	▲14	▲10	▲83	+120
非支配株主に帰属する純利益	▲86	▲11	▲8	▲6	▲10	▲35	+51
親会社株主に帰属する純利益	638	50	76	36	36	198	▲440
設備投資額(検収ベース)	3,154	762	485	431	471	2,149	▲1,005
減価償却費	714	178	181	202	228	789	+75
(うち 営業内償却費)	714	174	176	198	223	771	+57
EBITDA (注1)	1,446	261	297	290	292	1,140	▲306
為替(円/US\$) (注2)	139.8	147.0	155.2	152.6	149.2	151.1	+11.3
営業利益率(%)	17.2%	9.3%	11.6%	9.3%	7.0%	9.3%	▲7.8%
EBITDAマージン(%)	34.0%	27.9%	28.4%	29.4%	29.3%	28.8%	▲5.2%
ROE(年率%)	11.6%	3.2%	5.1%	2.5%	1.9%	3.4%	▲8.2%
1株当たり純利益(円)	182.59	14.46	21.61	10.42	10.34	56.84	▲125.75

(注1) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

(注2) 為替感応度...米ドルに対し1円の変動で年間約11億円の営業利益影響

## 5-2. 営業利益増減分析

### 1. 前四半期比

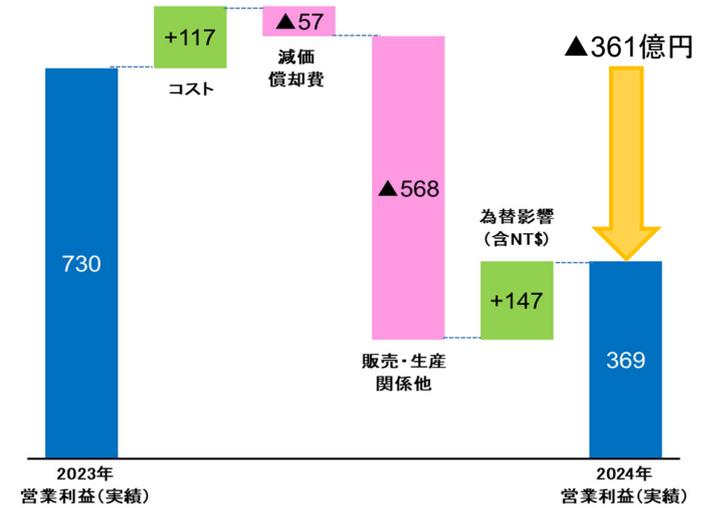
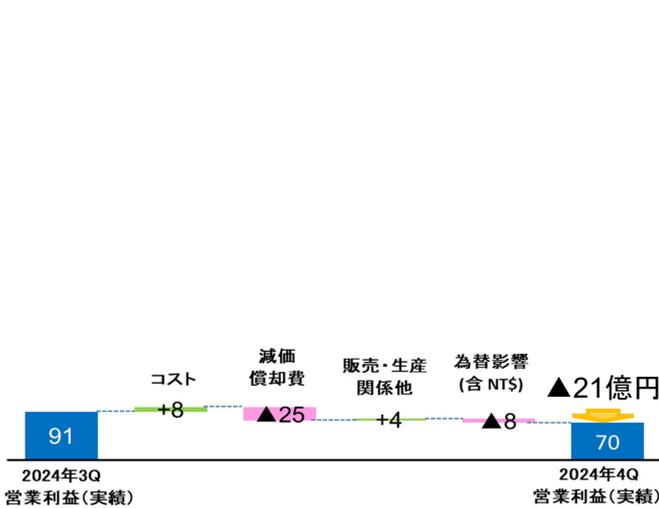
(金額単位: 億円)

	2024年度 3Q実績	2024年度 4Q実績	増減
売上高	984	1,000	+16
営業利益	91	70	▲21
為替(円/US\$)	152.6	149.2	▲3.4

### 2. 前年比

(金額単位: 億円)

	2023年度 実績	2024年度 実績	増減
売上高	4,259	3,966	▲293
営業利益	730	369	▲361
為替(円/US\$)	139.8	151.1	+11.3



## 5-3. バランス・シート、キャッシュ・フロー(連結)

### 1. バランス・シート

(金額単位: 億円)

	2023年 12月末	2024年 12月末	増減
現預金等	1,563	956	▲607
売上債権	828	925	+97
製品・仕掛品	520	547	+27
原材料・貯蔵品	1,663	1,785	+122
有形・無形固定資産	5,596	6,996	+1,400
繰延税金資産	73	93	+20
その他	487	424	▲63
総資産	10,730	11,726	+996
有利子負債	2,244	3,539	+1,295
その他	2,131	1,615	▲516
負債	4,375	5,154	+779
資本金	1,990	1,990	-
資本剰余金	852	855	+3
利益剰余金	2,677	2,778	+101
非支配株主持分他	836	949	+113
純資産	6,355	6,572	+217
自己資本比率	53.3%	50.5%	▲2.8%
1株当たり純資産額(円)	1,636.2	1,693.2	+57.0
D/E レシオ(グロス)(倍)	0.39	0.60	+0.21
D/E レシオ(ネット)(倍)	0.12	0.44	+0.32

### 2. キャッシュ・フロー

(金額単位: 億円)

	2024年度
税引前純利益	316
減価償却費	789
小計	1,105
棚卸資産増減	▲104
その他	▲305
営業キャッシュ・フロー	696
設備投資(検収ベース)	▲2,149
設備債務増減他	▲329
投資キャッシュ・フロー	▲2,478
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,782
資金使途	
配当金支払	▲146
有利子負債増減	1,260
換算差額他	61
現預金増減	▲607

# 2025年度第1四半期 業績予想(連結)

## 6-1. 2025年度第1半期 業績予想(連結)

(金額単位：億円)

	2024年度		2025年度	増減	
	1Q 実績	4Q 実績	1Q 予想	対前年同Q	対前Q
売上高	935	1,000	1,020	+85	+20
営業利益	86	70	45	▲41	▲25
営業外損益	5	44	▲5	▲10	▲49
経常利益	91	114	40	▲51	▲74
特別損益	-	▲58	-	-	+58
法人税等	▲30	▲10	▲22	+8	▲12
非支配株主に帰属する純利益	▲11	▲10	▲3	+8	+7
親会社株主に帰属する純利益	50	36	15	▲35	▲21
減価償却費	178	228	246	+68	+18
(うち 営業内償却費)	174	223	245	+71	+22
EBITDA	261	292	290	+29	▲2
為替(円/US\$)(注)	147.0	149.2	155.0	+8.0	+5.8
営業利益率(%)	9.3%	7.0%	4.4%	▲4.9%	▲2.5%
EBITDAマージン(%)	27.9%	29.3%	28.4%	+0.5%	▲0.9%
ROE(年率%)	3.2%	1.9%	0.9%	▲2.2%	▲1.0%
1株当たり純利益(円)	14.46	10.34	4.29	▲10.17	▲6.06

(注) 為替感応度...米ドルに対し1円の変動で年間約12億円の営業利益影響

# 6-2. 営業利益増減分析

## 1. 前四半期比

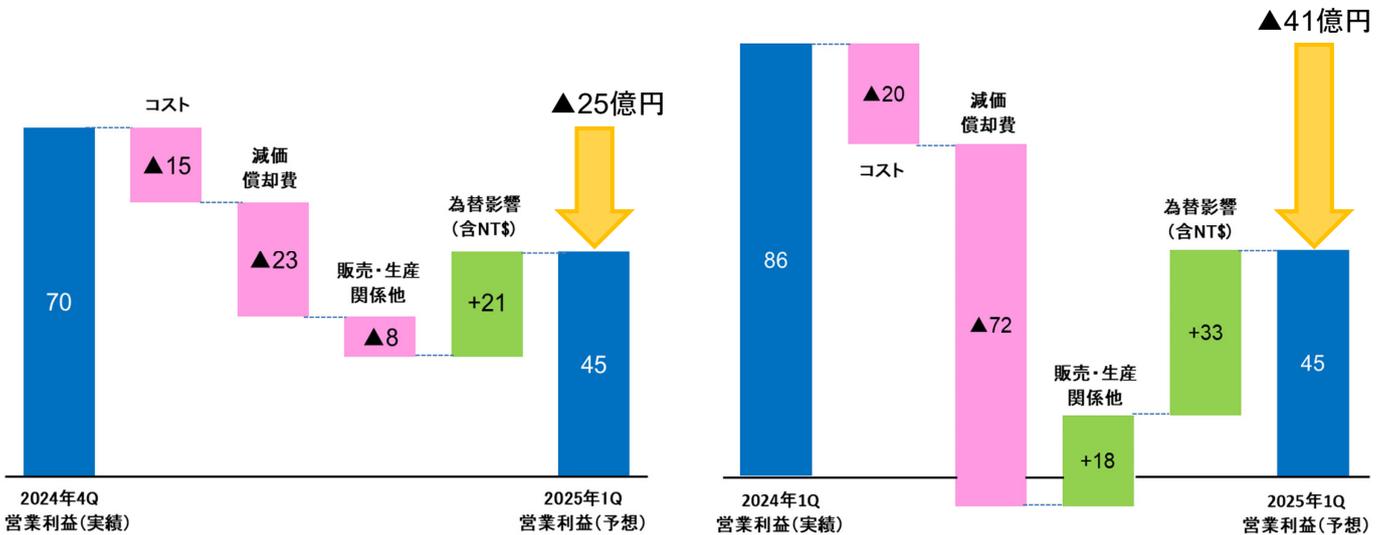
(金額単位: 億円)

	2024年度 4Q実績	2025年度 1Q予想	増減
売上高	1,000	1,020	+20
営業利益	70	45	▲25
為替(円/US\$)	149.2	155.0	+5.8

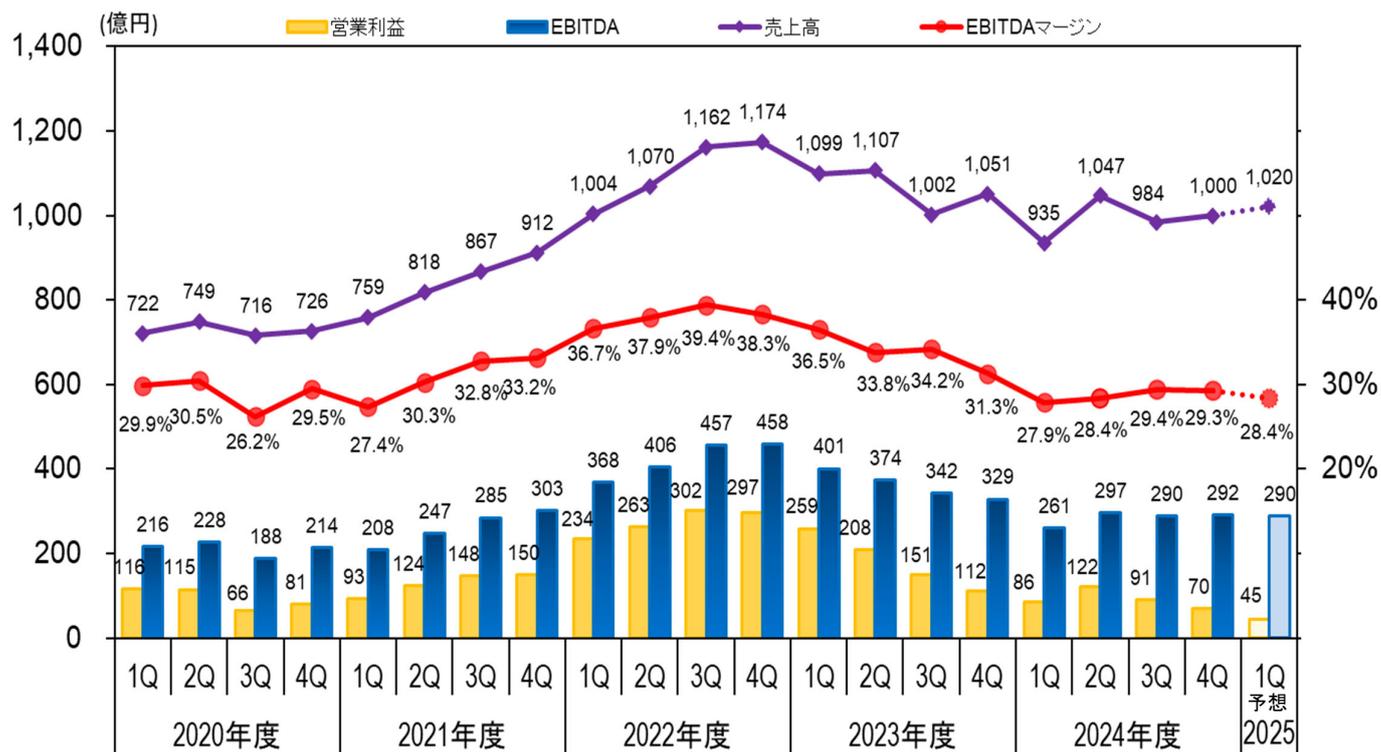
## 2. 前年同期比

(金額単位: 億円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q予想	増減
売上高	935	1,020	+85
営業利益	86	45	▲41
為替(円/US\$)	147.0	155.0	+8.0



# 参考資料



URL <https://www.sumcosi.com/>